

北海道教育委員会「S-TEAM 教育推進事業」  
令和6年度（2024年度）授業研究(等改善)セミナー

# 道央・地歴公民 実施報告



令和6年10月9日（水）、北海道千歳高等学校を会場に「地歴公民科における探究的な学び（主体的・対話的で深い学びの充実）」と「ICT（一人一台端末）を活用した効果的な学習指導」をテーマとして、地歴公民科（政治・経済）の授業研究セミナーを開催しました。道央ブロックの各管内から16名の参加がありました。本講座の実施内容等を紹介しますので、授業改善の参考として御活用いただければと思います。

## 実施状況

### 【学習指導案検討会】

本セミナーの研究授業の実施に向け、道立高校教諭4名、道教委指導主事3名から成る「授業研究チーム」を編制し、オンラインで学習指導案の検討を3回実施しました。研究授業で扱う「雇用と労働問題」の分野において、「高校生の柔軟な視点や自由な発想を引き出す授業」、「新しい仕事の登場で変わる働き方」、「ウェルビーイング」の観点も含め、生徒が自分の能力を発揮し、自分らしく働ける「理想の働き方」等の話題に関する協議を行い、学習指導案のブラッシュアップを行いました。これからの未来を担う生徒達に、多様な視点を持たせ、いかに自分事として考えるきっかけになるかについて、検討が行われました。

### 【研究授業(実践発表)】北海道千歳高等学校 小川 正明教諭

政治・経済（第4節「福祉社会と日本経済の課題」）の「雇用と労働問題」において、単元を貫く問いを「日本経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて、私たちには何ができるだろうか」、本時の目標を「多様な働き方・生き方の実現に向けて、雇用制度や労働環境のあり方に対する考察を深め、将来の自分自身や社会全体の働き方や生き方に対する関心や課題意識を高める」と設定し、研究授業を行いました。多様な働き方に関する既習知識を活用しながら、ビジュアルツールキット「canva」を使って、「どのような働き方をしたいか、何を大切に働きたいか」「自分の理想と現実のギャップをうめるために、どうしていくか」などについて自分の考えや意見の発表を行いました。授業の最後には、他者の発表を踏まえて自分の考えを調整し、Google フォームにまとめを行いました。生徒同士の意見交流により、自分の将来について深く考えることができました。



学習指導案



生徒の成果物のリンク



### 【研究協議】「公民科における探究的な学びについて」

参加者は研究授業実施後にグループに分かれ、研究授業を通じて考えたことや授業のブラッシュアップ案について、協議を行いました。既習の知識を活用して発表する生徒の姿や、意見の集約や他者参照にICTを効果的に活用した工夫について、意見が交わされました。授業者より、前時の様子や本時を活かした今後の授業についての説明もあり、単元を通して生徒に複雑化・多様化する社会に対応できる資質・能力の育成に取り組んでいる実践について理解を深めることができました。



### 【授業研究セミナーの振り返り】

授業研究セミナーから1カ月後の11月13日（水）に、授業研究セミナーの振り返りを行い単元終了後の生徒の姿や、参加者自身の授業改善に向けて交流しました。授業者からは、社会的な関心がより高まり、政治・経済に関して前向きに考えられる生徒が増えてきたことや、自分事として物事を考え、その後の授業につなげて考えることができるようになった、成長した生徒の姿などについて話がありました。生徒が現代社会の諸課題に対して、「本当にそうなのか」「こういう考えも必要なのでは」という視点を持ち、自分自身の生き方について真剣に考えるために、教師がどうアプローチしていくことが大切であるかということ、改めて実感した時間となりました。

## セミナー参加者の声

### 【参加者の声】

- 主体的・対話的で深い学びにおける授業実践を参観することで、自分の実践とどのように違うのかが明確になり、今後の授業で役に立つことを多く学べた。
- 探究的な学習に対するアプローチの一端を学ぶことができた。今後の自分の授業における改善点のヒントをつかむことができた。
- 既習の内容と結びつけることができている、とても参考になった。
- 新しいアプリをすることができたのは収穫だった。この後は自分での学習が必要だと感じた。
- 何事もメリット、デメリットはあるが、ICTの活用の仕方、方法において効果や成果に繋がる一助になることを理解した。

### 【アンケートの結果（一部）】

- 1 教科における「探究的な学び」又は「主体的・対話的で深い学びの充実」に関する理解は深まりましたか。
  - ・おおいに深まった 44.4 %
  - ・深まった 55.6 %
- 2 今回のセミナーで紹介した教材や指導方法、研究授業、研究協議の内容等は、あなたの授業において活用できますか。
  - ・おおいに活用できる 33.3 %
  - ・活用できる 66.7 %